



第3期中期計画期間が始まりました

芦屋中央病院は中期計画および年度計画に基づき運営を行っています。「なんのことだろう?」と思われる方も多いかと思しますので少しご説明をしたいと思います。

芦屋中央病院は地方独立行政法人であり、病院の運営は病院経営陣にまかされておりますが、その経営はオーナーである芦屋町の意向を守る必要があります。芦屋町からの目標に基づきどのように運営するかを表明したものが中期計画と年度計画になります。中期計画は4年間でひとくくりで、それを1年ごとにしたものが年度計画です。令和5年度から令和8年度までの第3期中期計画期間が始まりました。



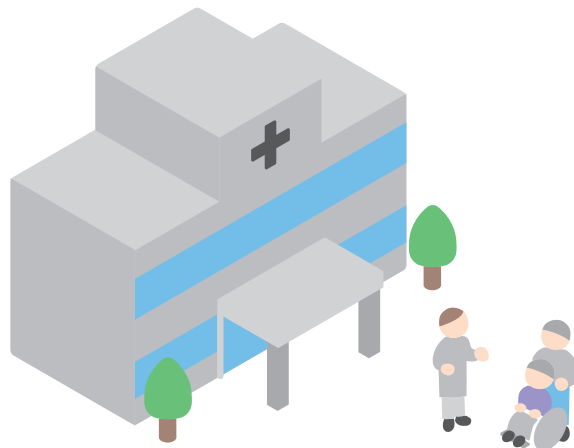
病院長 櫻井 俊弘

芦屋町にお住まいの方には、パブリックコメントや地方独立行政法人芦屋中央病院評価委員会などで中期目標や中期計画に関してご存じの方もおられるかもしれません。公表されたものは分量がかなり多いため、その中から重要な部分を抜き出して今回、概要版を作成しました。

当院を利用していただいている皆さんの中には芦屋町民ではない方もたくさんいらっしゃいます。その方々には、中期計画や年度計画は直接的には関係ないかもしれません。概要版には病院の運営についての基本的な考え方を示しておりますので、芦屋中央病院のことをもっと知っていただけたと思います。

中期計画には「当院の理念」や「目指すべき病院像」、中期計画の核となる「具体的な主要施策」「目標指標」なども記載しています。

是非次ページの概要版をご覧ください、当院についてより深くご理解いただければ幸いに存じます。



理念	・地域住民に信頼される病院 ・地域医療機関に信頼される病院 ・職員に信頼される病院 ◆目指すべき病院像 ・「何時までも住み慣れた地域で暮らせる町あしや」の実現や、芦屋町と近隣地域の医療・在宅サービスの充実のため、地域包括ケアシステムの更なる深化・推進に地域の中核病院として貢献することを目指します。 ・将来にわたり持続可能な経営基盤を確立することを目指します。 ・医療・介護・保健・福祉のサービスを一体的、かつ、体系的に提供する地域密着型多機能病院を目指します。
-----------	---

◆第3期中期計画について（本計画は国の公立病院経営強化プランに位置付けます）

芦屋中央病院は昭和 51 年 10 月に一般病床 103 床にて開院し、平成 27 年 4 月に地方独立行政法人化、平成 30 年 3 月に現在の病院へ新築移転し、診療科目数 20 科目、病床数 137 床（地域包括ケア 108 床・医療療養 14 床・緩和ケア 15 床）として現在に至ります。地方独立行政法人法に基づき、芦屋町長が定めた第 3 期中期目標を受けて病院が第 3 期中期計画を策定しています。また、芦屋町が設置する評価委員会の意見を聴き、町長の認可（令和 5 年 3 月）を受け、確定したものです。芦屋中央病院では第 3 期中期計画を基に、令和 8 年度まで各年度計画を策定し運営を行います。

◆町議会の議決を経て芦屋町長が定めた第3期中期目標（概要）
業務運営に関する次の5項目について第3期中期目標を設定

1. 中期目標の期間
2. 住民に提供するサービスその他の業務の質の向上
3. 業務運営の改善及び効率化
4. 財務内容の改善
5. その他業務改善

(令和4年12月議決事項)



芦屋町長が定めた中期目標をもとに芦屋中央病院の中期計画や年度計画が作られるんだよね！

芦屋中央病院はこれから地域の医療・在宅サービスにどう取り組むのかな？

目標を達成するため とるべき措置（抜粋）	具体的な主要施策		備考		目標指標		
			第3期中期 計画ページ				
住民に対して提 供するサービス その他の業務の 質の向上	1.医療サービスにおける役割・機能の最適化と連携の強化		P5 から P11		主な項目		
	・地域医療への貢献／在宅医療の推進				令和3年度実績	令和8年度	
	・地域医療連携の強化						
	・救急医療への取組						
	・災害及び新興感染症に対する医療協力						
	・予防医療の強化						
	2.医療の質の向上						
	・医療安全の徹底						
	・医療従事者の確保						
	・計画的な医療機器等の整備						
	・第三者評価機関による評価						
	3.患者サービスの向上						
業務運営の改善 及び効率化	1.法人運営管理体制の確立		P11 から P13		（在宅医療の推進）		
	—						
	2.業務運営改善と効率化						
	・働き方改革への対応						
	・人事考課制度の適切な運用						
	・予算の弾力化						
	・計画的かつ適切な職員配置						
	・研修制度の推進						
	・総合相談窓口の充実						
	・患者中心の医療の提供／患者快適性及び職員の接遇の向上						
	・地域住民への医療情報の提供						
	財政内容の改善 収支計画等	1.持続可能な経営基盤の確立			P14 から P20		（在宅医療の推進）
・健全な経営の維持							
・収入の確保							
・支出の節減							
・収支計画							
・患者中心の医療の提供／患者快適性及び職員の接遇の向上							
・総合相談窓口の充実							
・地域住民への医療情報の提供							
・患者中心の医療の提供／患者快適性及び職員の接遇の向上							
・総合相談窓口の充実							
・地域住民への医療情報の提供							

新任医師の紹介

消化器内科

かじ たくろう
加治 拓朗



2023年4月から消化器内科に赴任しました加治拓朗と申します。福岡大学病院、福岡大学筑紫病院で2年間の臨床研修を経て、その後は福岡大学筑紫病院消化器内科へ入局し勤務しておりました。現在医師5年目とまだまだ若手であり経験も浅いですが、患者さんに寄り添った医療を提供できるように日々努力していきたいと思っております。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

消化器内科

どい ひろや
土井 鴻弥



2023年7月より消化器内科に就任しました土井鴻弥と申します。2020年に福岡大学医学部を卒業し、その後2年間の臨床研修を経て、消化器内科を専攻しています。芦屋町には僅か1年間しか住まう事ができませんが、プライベートでは海や釣りやお祭りなど、ここでしか出来ない様々な事を経験したいと楽しみにしています。私を見かけた際には芦屋町の魅力をたくさん教えて下さい。

また仕事面では患者様に親身に寄り添い精一杯努めてまいりますので、皆様の記憶に少しでも残れば幸いです。

以上簡単ですが挨拶とさせていただきます。1年間どうぞよろしくお願い申し上げます。芦屋町の皆様のご健康を心から願っております。

外科

なかやま かずのり
中山 和典



今年4月より赴任いたしました外科医師の中山和典と申します。

平成22年に九州大学を卒業し、これまで福岡市、北九州市を中心に勤務してきました。消化器疾患・乳腺疾患を中心に担当させていただきます。

芦屋町は初めてですが、自然豊かで、海産物なども美味しく、とても過ごしやすい印象です。

芦屋の皆様に適切な医療を提供できるように、まずは患者さんやご家族とよく話せるような関係を築き、少しでもよい選択を共にできればと考えています。日々精進し診療を行って参りたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

脳卒中専門外来が始まりました

脳卒中血管内科 黒川 暢

この度、外来診療を担当させて頂く事になりました黒川暢です。産業医科大学出身で、脳疾患の中でも特に脳卒中の予防、診断、フォローアップを専門としています。患者様に適切なケアとサポートを提供できるよう、努力いたします。

脳卒中は脳の血管が詰まったり、破れる事で起こる為、予防と早期発見が非常に重要です。定期的な検診や健康相談を通じて、リスクを低減する方法を一緒に学んでいきましょう。めまいや立ちくらみ、頭痛や物忘れ等で心配されている方や顔の歪みや腕や足の力が抜ける、言葉が出にくい、ものが二重に見えるなどの症状が出た方はすぐにMRI等の検査が必要な可能性があります。脳卒中後のフォローアップが必要な方も、お気軽にご相談ください。

専門的な治療が必要な場合は、産業医科大学と連携してサポートいたします。皆様と協力して、患者様に最善の医療を提供できるよう努めます。脳卒中患者様の生活の質向上を目指して、共に取り組んでいきましょう。



第4回響灘医療連携フォーラムを開催しました

フォーラムでは当院医師の佐羽内が講義を行いました。

骨粗鬆症委員会 佐羽内 研

骨粗鬆症と二次性骨折予防に対する現状



骨粗鬆症は軽微な外傷で骨折を生じる病気です。背骨の場合は外傷がなくても潰れてしまうことがあります（圧迫骨折）。超高齢社会の日本では、約1,300万人の罹患者がいると言われていますが、治療率は約20%と低いのが現状です。高齢者が要介護となる原因として骨折・転倒が認知症、脳血管疾患に次ぐ第3位で13%を占めています。骨折の要因である骨粗鬆症の予防と治療を行うことは、要介護者を減少させて健康寿命を延伸する上でも重要です。特に大腿骨近位部骨折では、1年以内の死亡率が20-24%と高く、33%の方は施設入所が必要になり、60%の方が1年後も何らか

の介助が必要であるといわれています。また、初回骨折後に対側の骨折を生じる可能性も非常に高いため、二次性骨折予防のための骨粗鬆症治療が必須です。しかしながら、現状は治療介入・治療持続率共に不十分です。令和4年度の診療報酬改訂で、大腿骨近位部骨折患者に対して継続的に骨粗鬆症の評価・治療を行った場合の診療報酬が新設されました。この制度を利用して、二次性骨折予防率を向上させることが期待されます。

地方独立行政法人 芦屋中央病院外来診療担当表

2023年9月1日現在

診療科	時間	月	火	水	木	金	土
消化器内科	午前	櫻井	加治	今村	土井	今村／占部	
肝臓内科	午前		日浦				
内科	午前	呼吸器科 岩永		呼吸器科 矢寺(第1週) 神田(第2・3・4・5週)	呼吸器科 船田	膠原病内科 花見	
		横溝	占部	日浦	占部	鈴鹿	
		吉村	循環器内科 三木	循環器内科 瀬戸山	循環器内科 永田	循環器内科 岡部	
		糖尿病・ 代謝内科 松下	糖尿病・ 腎臓内科 鈴鹿	糖尿病・ 代謝内科 松下	糖尿病・ 腎臓内科 瓜生	糖尿病・ 代謝内科 松下	
	午後	糖尿病・ 腎臓内科 瓜生		呼吸器科 金山		膠原病内科 松永	
		脳卒中専門外来 (第1・3・4・5週) 黒川					
総合内科	午後	日浦 今村	日浦 松下	占部 加治	鈴鹿 吉村	瓜生 横溝	
泌尿器科	午前	井上	井上	井上	井上	井上	
	午後	井上 (女性専用診療)	井上	井上 手術の際休診	井上	井上	
整形外科	午前	河野(新患)	産医大医師(新患) 嵐(第1・3・5週) 福田(第2・4週)	熊谷(新患)	佐羽内(新患)	産医大医師(新患) 山田(第1・3・5週) 吉田(第2・4週)	産医大医師
		佐羽内	佐羽内	河野	河野	河野	
		肩関節専門外来 熊谷		佐羽内		熊谷	
	午後	14:30～ 河野	嵐(第1・3・5週) 福田(第2・4週) ※午後受付15:30まで	担当医 (佐羽内) 手術の際休診	熊谷	山田(第1・3・5週) 吉田(第2・4週) ※午後受付15:30まで 13:30～15:30 骨粗鬆症 佐羽内	
スポーツ外傷・ 障害専門外来 (予約制)	午前	11:00～ 迫田	11:00～ 迫田	11:00～ 迫田	11:00～ 迫田		迫田
	午後	迫田	迫田	迫田	迫田	熊谷	
外科 (乳腺外科)	午前	水田	永渕		水田	水田	
	午後	中山(新患)	中山(新患)		永渕(再診のみ)	中山(新患)	
緩和ケア外来	午前	水田(予約制)				水田(予約制)	
	午後	水田(予約制)				水田(予約制)	
眼科	午前	藤井					
	午後				谷口		
皮膚科・ 形成外科	午前	石井(第3週)			澤田		
	午後	石井(第3週)					
耳鼻咽喉科	午前				産医大医師	産医大医師	
	午後		14:00～ 産医大医師				
腎外来	午前	中俣(再診のみ)	中俣(新患)	中俣(再診のみ)	中俣(新患)	中俣(再診のみ)	

※午後は手術のため休診になることがありますので、ご来院の前に電話にてお問い合わせください。

受付時間	午前	〔月曜～金曜〕 8:00～11:30まで 〔土曜〕 8:30～11:00まで(整形外科のみ) ※新患の受付は8:30～となります。
	午後	〔月曜～金曜〕 12:30～16:00 (リハビリは18:00まで)
スポーツ外傷・ 障害専門外来 初診受付時間	〔月曜～木曜〕	11:00～17:00
	〔金曜〕	12:30～16:00
	〔土曜〕	9:00～11:00

TEL 093-222-2931(代)
〒807-0141 福岡県遠賀郡芦屋町大字山鹿283番地7
FAX 093-222-2176(代)
FAX 093-223-0301(地域連携室)
URL: <http://www.ashiya-central-hospital.jp>



・JR遠賀川駅から芦屋タウンバス「中央病院」芦屋中央病院前バス停下車
・線にて「芦屋中央病院」バス停下車
・JR折尾駅から北九州市営バスにて「芦屋(第一栗屋)」または「芦屋(鶴松団地)」行きにて「芦屋中央病院」バス停下車
・JR折尾駅から北九州市営バス「日吉台・水巻町図書館・向田」經由芦屋中央病院前「行き」にて「芦屋中央病院」バス停下車